

【8人制サッカー2人制審判】

- 1)主審(ベンチ側)、副審を決め、概ね下図で示したエリアを移動しながらゲームコントロールを行う。
- 2)主審、副審ともにホイッスルを持ち、ゲームを止め再開させる。
- 3)主審、副審の判定が異なる場合は主審の判定が優先される。ただし主審は、副審のポジショニングなどを考慮し、最終決定する。
- 4)原則、判定は争点に近い審判が行うが、角度等により争点(ボールを奪い合う場所)に近い審判が判定できない場合は、もう1人の審判が離れていても判定を行うことはできる。
- 5)ボールが移動した場所やボールがない場所でのファウルは、その場所に近い審判が判定する。
- 6)キックオフの合図(ホイッスル)は、主審が行う。
- 7)前半、後半、延長戦の前後半の終了の合図(ホイッスル)は、アディショナルを考慮しながら主審が行う。
- 8)オフサイドのシグナルは、右腕を頭上に上げ、その後右腕でポイントを示す。

<ポジショニングの留意点>

図に示した状況では、主審は争点の監視、ゴールの監視、ゴールラインからのボールアウトの確認を行う。
副審は、争点の確認、タッチラインからのラインアウトの確認、カウンター時などのオフサイドの監視を行う。

主審と副審は常に向かい合うようにポジショニングし、背中を向けることが無いよう争点、ボールの移動に伴いバックステップを使う。

選手及びボールの外側から監視する。内側には行かないほうがよい。

オフサイドラインの位置につきながら争点の監視をする。ボールウォッチャーにならない。

